

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
和歌山大学

目 次

資料 1-1-1 教養教育部会におけるカリキュラム審議内容	1
資料 1-1-2 教養教育充実に向けたテレビ会議システムの導入内容	2
資料 1-1-3 情報教育の位置付けと、強化内容	3
資料 1-1-4 「スポーツ活動のマネジメント」等のシラバス	5
資料 1-1-5 エクステンション科目と単位認定制度	6
資料 1-1-6 海外インターンシップの内容	7
資料 1-1-7 社会人講師担当の授業科目（一部）	8
資料 1-1-8 卒業生アンケート結果と、その反映内容	9
資料 1-1-9 海外への学生派遣状況	10
資料 1-1-10 学生の共同研究への参加状況	11
資料 1-1-11 教員免許状取得プログラム	12
資料 1-1-12 「技術経営基礎」コミュニケーションカード	13
資料 1-2-1 高校との情報交換を通じた入試方法の改善	14
資料 1-2-2 社会人を考慮した入学者選抜方法	15
資料 1-2-3 地域ニーズを考慮した入学者選抜方法	16
資料 1-2-4 社会人の博士後期課程への入学状況	17
資料 1-2-5 標準履修モデル	18
資料 1-2-6 到達目標と、授業評価アンケート結果	19

資料 1-3-1	教育研究に係る教員評価の実施	20
資料 1-4-1	ハラスメント防止への取組	21
資料 1-4-2	障害のある学生への支援内容	22
資料 2-1-1	独創的研究支援プロジェクト	23
資料 3-1-1	コーディネーターの配置状況	24
資料 3-1-2	国際学会への学生派遣状況	25
資料 3-1-3	外国の研究者との学術交流	26
資料 3-1-4	国際シンポジウム「和歌山から世界への移民」の開催	27
資料 3-1-5	ウェブサイト「和歌山大学留学生の広場」の開設	28
資料 3-1-6	宿舍貸与の特別措置	29
資料 3-1-7	留学生の募集要項	30
資料 3-1-8	留学生への就職ガイダンス	31
資料 3-1-9	コーディネーターの活動	32
資料 3-1-10	ランゲージ・カフェの開催	33
資料 3-1-11	留学生特別指導費	34
資料 4-1-1	地域ニーズを考慮した入学者選抜方法	35

資料1-1-1 教養教育部会におけるカリキュラム審議内容

平成21年12月14日教養教育部会審議事項

議 題

- ① 平成22年度教養科目について
 - ・非常勤講師担当科目
 - ・各学部提供科目
 - ・専門科目の他学部提供
 - ・モラル等に関する科目の追加開講

例. 学生生活の危機管理

京都大学方式 講義「社会常識」 1年生前期

報 告

- ① 平成23年度概算要求について
- ② 平成22年度和歌山大学予算編成方針について
 - ・教育改革推進事業経費
 - 1) 学生生活（社会人としてのモラル）の教材開発
 - 2) キャリア教育の教材開発

平成21年度非常勤講師【本部経費分】担当科目

【第3常置委員会枠】

	科目名	単位	期間	時間数	担当教員	受講者数	22年度
当初	デッサン論	2	後期	30		56	×
追加	デザイン実技	2	前期	30		6	×
当初	色彩心理学と色彩の歴史	2	後期	30		650	×
追加	現代政治論	2	前期	30		25	×
当初	現代の観光	2	後期	30		232	○
当初	世界の観光・日本の観光	2	前期	30		419	○
当初	景観論入門	2	後期	30		115	○
当初	世界史の中の日本	2	後期	30		74	○
当初	和歌山の歴史と文化	2	後期	30		65	○
当初	女性起業論	2	後期	30		232	○
当初	NPO人材育成論	2	後期	30		36	○
追加	現代マスコミ論	2	前期	30		147	○
当初	人権と教育	2	前期	30		51	○
当初	ハングルIA	4	前期	30		40	○
当初	ハングルIB	4	後期	60		53	○
当初	ハングルIC	4	後期	30		38	○
当初	ハングルIIB	4	前期	60		7	○
当初	日本語IA	2	前期	30		22	○
当初	日本語IIA	2	前期	30		17	○
当初	伝統芸能論	2	前期	30		541	○
時間数小計				630			

平成22年度非常勤講師【本部経費分】担当科目

【第3常置委員会枠】

	科目名	単位	期間	時間数	担当教員
継続	現代の観光	2	後期	30	
継続	世界の観光・日本の観光	2	前期	30	
継続	景観論入門	2	後期	30	
継続	伝統芸能論	2	前期	30	
継続	世界史の中の日本	2	後期	30	
継続	和歌山の歴史と文化	2	後期	30	
継続	女性起業論	2	後期	30	
継続	NPO人材育成論	2	後期	30	
継続	現代マスコミ論	2	前期	30	
継続	人権と教育	2	前期	30	
継続	ハングルIA	4	前期	30	
継続	ハングルIB	4	後期	60	
継続	ハングルIC	4	後期	30	
継続	ハングルIIB	4	前期	60	
継続	日本語IA	2	前期	30	
継続	日本語IIA	2	前期	30	
時間数小計				540	

資料1-1-2 教養教育充実に向けたテレビ会議システムの導入内容

平成21年度 テレビ会議システム利用科目および連携事業科目一覧

	授業科目名	開設大学	曜日・時間		受講登録者数
前期	観光人類学	和歌山大学	毎週	水 13:10 - 14:40	連携事業参加大学への配信
	メンバーとして学ぶ プロジェクトマネジメント	連携事業	集中		和歌山大学8名 和歌山信愛女子短期大学13名
後期	生物と機械	近畿大学生物理工学部	毎週	木 9:00 - 10:30	連携事業参加大学への配信
	ブランド論	和歌山大学	毎週	月 13:10 - 14:40	連携事業参加大学への配信
	ミュージアムマネジメント	和歌山大学	毎週	金 9:10 - 10:40	連携事業参加大学への配信
期	動画制作の基礎技術	連携事業	集中		和歌山大学 10名 和歌山県立医科大学 1名 近畿大学生物理工学部 8名 和歌山信愛女子短期大学 6名

高等教育機関コンソーシアム和歌山単位互換実績

○対面授業

身体の構造と機能 (県立医科大学)	1名 (近大)
芸術療法 (高野山大学)	2名 (近大1、和大学1)
発達心理学 (高野山大学)	1名 (和大学)
メンバーとして学ぶプロジェクトマネジメント (共同講義)	21名 (和大学8、信愛13)

○TV会議システム利用授業

観光人類学 (和歌山大学)	延90名 (自由聴講) / 11回
---------------	-------------------

資料1-1-3 情報教育の位置付けと、強化内容

教育学部 2009 履修手引 p 22

		必要単位数	履修に関する指示	
教 養 科 目	教 養	人文分野	~ 4	
		社会分野	4	日本国憲法が必修となります
		自然分野	4	
		選 択	2	教養(人文・社会・自然分野・その他)から選択履修。ただし日本事情A、にほんのこぼろ・にほんのぶんが1~2は外国人留学生のみ履修可能
	小 計		14	
	保 健 育	講 義	2	1年次(前期金4)に現代健康・スポーツ論Lを履修
		実 技	2	1年次(前期金2 or 3・後期金2 or 3)に履修
	外 国 語	語 学 1	8	1~2年次に英語を履修、外国人留学生は日本語I A~I Dを履修
		語 学 2	4	1年次にドイツ語・フランス語・中国語・ハンゲルより1外国語を選択し履修、外国人留学生は日本語II A~II Dより4単位分を選択し履修
		小 計		16
専 門 科 目	専 門 共 通	外国語コミュニケーション	2	1年次後期・2年次前期に履修
		コンピュータリテラシー	2	1年次(前期金2 or 3)にコンピュータ入門AもしくはBを履修
	小 計		4	

経済学部 2009 履修手引 p14

□ 情報基礎演習 … 情報処理の基礎を学ぶ少人数授業です。コンピュータやネットワークを使う上で必要な知識を身につけるために、1年次に全員この科目を受講してください。なお、教職免許状を得ようとする者にとって本科目は必修科目です。

システム工学部 2009 履修手引 p63

履修年次等		履修科目群	卒業必要単位
履修セメスタ	年次		
1	1年次	★微積分1, ★力学入門, ★物理化学基礎, ★情報処理 I ★化学入門, ★精密物質入門セミナー, ★化学実験, 線形代数1	80
2		★電磁気学入門, ★無機化学 I A, ★有機化学 I A ★情報処理 II, 微積分 2, 線形代数 2	
3	2年次	★物理学実験, ★現代物理学, 無機化学 II A, 有機化学 II A 電磁気学	
4		★量子力学 I, ★精密物質演習 A, ★精密物質演習 B 物理化学, 無機化学 III A, 有機化学 III A, 電気電子材料論 有機軌道論	
5	3年次	★精密物質実験 A, 量子力学 II, 統計力学 固体物性論, 半導体工学, 構造解析 I, 構造解析 II, 分析化学 I	
6		★精密物質実験 B, ★ナノサイエンス特論 I ★ナノテクノロジー特論 I, 無機機能材料論, 光電子物性論 分析化学 II, 機能有機材料化学, 有機合成化学, 高分子化学	
7	4年次	★精密物質セミナー I, ★精密物質実験 C ★ナノサイエンス特論 II, ★ナノテクノロジー特論 II	
8		★精密物質セミナー II	

★…必修科目 ☆…選択必修科目 無印…選択科目

観光学部 2009 履修手引 p11

6. 教養・基礎科目

6.1. 必修科目

「観光入門」「情報基礎演習」「基礎演習 I」「基礎演習 II」の4科目があります。すべて1年次のうちに履修するようにしてください。

平成20年度情報教育受講状況

学部名	入学者数	科目名	受講者数	取得者数	備考
教育学部	195	コンピュータ入門A	106	105	
		コンピュータ入門B	89	88	
経済学部	343	情報基礎演習	342	321	
システム工学部	302	情報処理 I	302	290	
観光学部	120	情報基礎演習	119	118	
計	960		958	922	

■ コンピュータリテラシー系コンテンツ

コンテンツ名

INFOSS情報倫理2010年度版

約3時間の学習で、ネットワーク社会に必要な情報倫理の最新知識を学習することができます。

<追加オプション>

■振り仮名バージョン

振り仮名つきのバージョンです。INFOSS情報倫理 2010年度版をご契約いただきましたお客様には、ご希望の場合、無償で提供させていただきます。

■英語バージョン

画面の日本語表示がすべて英語表示されているバージョンです。INFOSS情報倫理 2010年度版をご契約いただきましたお客様には、追加費用105,000円(1年間使用料、消費税込)で提供させていただきます。

■速習バージョン

およそ1時間で学習を完了できるよう構成されたコースです。INFOSS情報倫理 2010年度版をご契約いただきましたお客様には、ご希望の場合、無償で提供させていただきます。

科目名	情報処理技術問題演習		
担当教員	岩田 英朗		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時間	火2	単位区分	
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考	対象学生 2・3・4年		
科目名(英語表記)	Tutorial in Information Technology		
開設学科	ビジネスマネジメント		
研究室	本館棟 E-308		
オフィスアワー	水曜 12:20~13:10		
授業の概要	<p>高度情報化社会の現代においては、IT産業に限らずあらゆる産業において、情報処理技術に関する豊富な知識と技能を持った職業人が求められています。そこで本授業では、情報処理技術に関する問題演習を通して、独立行政法人 情報処理推進機構が実施する国家試験(情報処理技術者試験)受験に備え、必要な基礎知識の習得に努めます。</p> <p>授業は、情報処理技術者試験の中でも最も入門的な試験である「ITパスポート試験」(平成21年度より新設)への合格を主眼に置いて進める予定です。しかし、ITパスポート試験ではIT化された社会で働く全ての職業人に必要な基礎知識が問われるため、情報処理に関する基礎知識だけでなく、経営組織や会計学の基礎など、広範囲な知識が求められます。</p> <p>そこで、試験範囲の中でも特に情報処理に関係する部分に絞って、講義と演習を交えて授業を進める予定です。</p> <p>なお経済学部では、「ITパスポート試験」「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」合格者に対し、ビジネスマネジメント学科専門科目として単位を認定する制度を設けています。詳しくは履修手引を参照して下さい。</p>		

4.5. 情報処理技術者試験(平成21年度春季試験以降の合格者が対象)

種類	認定科目名	単位数	成績	検定試験実施機関
応用情報技術者試験	応用情報技術者試験	4	合	独立行政法人 情報処理推進機構
基本情報技術者試験	基本情報技術者試験	2	合	独立行政法人 情報処理推進機構
ITパスポート試験	ITパスポート試験	1	合	独立行政法人 情報処理推進機構

- これにより認定された単位は、ビジネスマネジメント学科の専門科目とします。
- 単位認定の申請は、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験のいずれか1科目1回限りとします。

資料1-1-4 「スポーツ活動のマネジメント」等のシラバス

授業科目名 (英語表記)		スポーツ活動のマネジメント Management of Sport Activities									
対象 学年	全学部 1年	開講 前期	授業 時間	金曜 1 時限	単位数	2	授業 形態	講義			
担当 教員	三吉修	他	研究室 (オフィスアワー)	研究室 (オフィスアワー)	後期	授業 時間	火曜 4 時限	単位数	2	授業 形態	講義
担当 教員	藤永博										
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】	この科目では、これから何らかのかたちでスポーツ活動を支えていこうと考えている人、すでに何らかの組織に所属してスポーツ活動を支えている人、最近注目され始めたスポーツマネジメントの考え方に興味がある人に、この分野の基本となる内容あるいは関連する最近の話題を紹介したいと思います。今年度はスポーツ選手のマネージメント、スポーツチームのマネージメント、様々なスポーツ組織やスポーツビジネスのマネージメントに関連するトピックを取り上げます。										
【授業計画】	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス～スポーツとは マネージメントとは スポーツマネジメントとは 2. 健康スポーツ活動のマネージメント 3. 地獄スポーツ活動のマネージメント 4. スポーツ選手のマネージメント～『筋トレでつけた筋力は本当に「からだ」のこと?』 5. スポーツ選手のマネージメント～『乳癌は本当に「悪者」か?』 6. スポーツ選手のマネージメント～『乳癌は本当に「悪者」か?』 7. スポーツ選手のマネージメント～トップ・アスリートのマネージメント 8. スポーツチームのマネージメント～コーチング理論を中心に (観光学部 竹林浩志先生) 9. スポーツチームのマネージメント～チームワークの心理学を中心に 10. スポーツチームのマネージメント～ガバナンスの話を中心に (経済学部 吉村先生) 11. スポーツ組織のマネージメント～プロスポーツの組織化の話を中心に 12. スポーツビジネスのマネージメント～マーケティングの基礎を中心に (観光学部 大津先生) 13. スポーツマーケティングのマネージメント～マーケティングの基礎を中心に 14. スポーツオペレーションのマネージメント～スポーツを創造する 										
【到達目標】	<p>目標① スポーツマネジメントに関する基本的な内容を理解する。 目標② 様々なレベルでのスポーツの実践現場が抱える問題を理解し、解決・改善に向けて取り組めるようにする。</p>										
【成績評価方法】	<p>期末試験一目標①に関連して一 (70%) レポート一目標②に関連して一 (30%)</p>										
【教科書】	使用しません。										
【参考書】	<p>図解 スポーツマネジメント、著：山下秋二 原田宗彦 編著、出版：大修館書店、ISBN:4469265713 スポーツマネジメント、著：原田宗彦 小笠原悦子、出版：大修館書店、ISBN:9784469266696 『スポーツ選手なら知らなくてはおきたい「からだ」のこと』 小田伸午 著 大修館書店 『使えない筋肉・使えない筋力』 石井直方 監修 谷本道哉 著 ベースボール・マガジン社 『スポーツマネジメント入門』 広瀬一郎 著 東洋経済新聞社</p>										
【履修上の注意・メッセージ】	<p>授業の順序 (授業計画参照) が変わることがあります。</p>										

授業科目名 (英語表記)		学生生活の危機管理 Risk Management for Students									
対象 学年	全学部 1年	開講 前期	授業 時間	金曜 1 時限	単位数	2	授業 形態	講義			
担当 教員	三吉修	他	研究室 (オフィスアワー)	研究室 (オフィスアワー)	後期	授業 時間	金曜 1 時限	単位数	2	授業 形態	講義
担当 教員	三吉修										
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】	<p>1年生に受講してほしい科目です。4年間の学生生活を有意義かつ快適に過ごし、さらには生涯にわたって健全な社会生活を送るために必要な知識と知恵を身につけることをねらいとしています。 現代は、技術革新によって社会構造がめまぐるしい変化を遂げています。私たちの生活は便利になるのと同時に、複雑化の一途をたどっています。知らず知らずのうちに法律に犯れたり、また予想もしなかった事態に足をすくわれそうになる、といったことに遭遇する可能性が高まっています。 この授業では、学生、社会人を取り巻くさまざまな問題をそれぞれの専門家の立場から講義し、また受講生にも考えてもらいます。中には、法律や医学の専門知識を避けて通れない事項もありますが、可能な限り具体例を挙げて身近な問題として取り上げるつもりです。</p>										
【授業計画】	<ol style="list-style-type: none"> 第1週 オリエンテーション・学生のための法律知識 (1)・・・三吉 修 第2週 安全快適な学生生活を送るために (1)・・・外部講師 第3週 安全快適なネット活用 (1)・・・内尾文隆 第4週 安全快適なネット活用 (2)・・・内尾文隆 第5週 災害から身を守る……………比松昌彦 第6週 安全快適な学生生活を送るために (2)・・・外部講師 第7週 心身のヘルスケア (1)……………宮西照夫他 第8週 心身のヘルスケア (2)……………宮西照夫他 第9週 心身のヘルスケア (3)……………宮西照夫他 第10週 心身のヘルスケア (4)……………宮西照夫他 第11週 安全快適な学生生活を送るために (3)・・・外部講師 第12週 学生のための法律知識 (2)……………吉田雅章 第13週 学生のための法律知識 (3)……………吉田雅章 第14週 安全快適な学生生活を送るために (4)・・・外部講師 第15週 試験 										
【到達目標】	<p>上記の授業計画は、多少変更になる場合があります。 ・社会生活を送る上で遭遇する可能性のある危機及びその対処法について理解を深めることを到達目標とします。</p>										
【成績評価方法】	<p>出席点 (40%)、レポート (10%)、試験の成績 (50%)</p>										
【教科書】	・特にありません。										
【参考書】	・授業時に適宜指示します。										
【履修上の注意・メッセージ】	<p>・授業を「聞き流す」のではなく、授業内容を自分の問題として捉え、つねに「私はこうする」という積極的な姿勢で臨んでください。</p>										

資料1-1-5 エクステンション科目と単位認定制度

11. エクステンション科目

外国語能力の向上や、旅行管理者等の資格取得などを目標として、通常の授業科目のほかに、エクステンション科目を開講します。エクステンション科目の詳細はガイダンス等で説明する予定です。ガイダンスの開催日時は、掲示板で通知します。

(出典：観光学部 2009 履修手引・授業計画 14 頁)

3. 検定試験等による単位認定制度

この認定制度は「大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による大学が単位を与えることのできる学修」(平成 3 年文部省告示第 68 号)に基づくもので、観光学部では次の検定試験での単位認定を行っています。

前期に単位認定を希望する者は、7 月末日までに、後期に単位認定を希望するものは、1 月末日までに、教務係窓口で配布している「検定試験等の単位認定願」に必要事項を記入し、関係書類を添えて教務係に提出してください。この制度によって修得が認定された単位には、グレードポイントを付与せず、GPA 算出の対象とはしません。

3.1. 外国語検定試験

種類	認定科目	単位数	成績	検定試験 実施機関
実用英語技能検定 (英検)1 級	英語	4	90 点	財団法人 日本英語検定協会
実用英語技能検定 (英検)準 1 級	英語	4	80 点	財団法人 日本英語検定協会

種類	評価	認定 科目	単位数	成績	検定試験 実施機関
TOEIC	730 点以上	英語	4	90 点	財団法人国際ビジネス コミュニケーション協会
	600～729 点	英語	4	80 点	
TOEFL	iBT 76 点以上	英語	4	90 点	国際教育交換協議会
	iBT 59 点以上	英語	4	80 点	

これらの検定試験等により認定された単位は、外国語の卒業必要単位に算入できます。

- 単位認定の申請は、英検、TOEIC、TOEFL とも各 1 回限りとします。
- 大学入学前に学修したのも認められる場合があります。

⋮

(出典：観光学部 2009 履修手引・授業計画 38～39 頁)

資料1-1-6 海外インターンシップの内容

第4週: (3月9日 ~ 3月15日)

3月9日(月) 10:20 ホノルル ⇒ 11:03 ハワイ島・コナ (HA117)

ジンジャー・ヒル・ファームをベースとする研修プログラム

指導担当: マコミ・オダ 先生

著名な芸術家であり、同時に国際的な環境・世界平和アクティビスト、ハワイ島メイヤーへのアドバイザーとしても知られるオダ先生の指導の下、スローライフ・スローツーリズム、エコツーリズムの基本となる理念を実体験する。

オーガニック・ライフの体験

エコ・ライフの体験

ファームでの仕事体験

ハワイの文化・精神性の体験 (古典フラ、他、ネイティブ文化を学ぶ)

環境活動家の指導によるエコロジーツアー体験 (海の世界)

マウナ・ケア火山・山頂 (標高 4,200m) で日没・星空の観測を体験

大手旅行代理店によるツアーと地元小規模旅行者によるツアーの内容・傾向・質の比較・学習

★ ハワイ島滞在中の宿舎は: ジンジャー・ヒル・ファーム リトリート・センター

3月14日(土) 08:37 ハワイ島・コナ ⇒ 09:17 ホノルル (HA117)

13:25 ホノルル ⇒ (NW 015)

3月15日(日) 18:40 関空

和歌山大学・観光学部
Wakayama University・School of Tourism

海外インターンシップ・ハワイ研修

International Internship・Hawaii Program

期間: 2009年2月16日 ~ 3月15日

第1週 & 2週: (2月16日 ~ 3月1日)

2月16日(月) 21:00 関空 ⇒ 09:05 ホノルル (NW 016)

ハワイ大学マノア・キャンパスにて英語研修 及び

TIM (Tourism Industry Management) School における受講。

担当教官: ラッセル・ウエノ教授、他

第3週: (3月2日 ~ 3月8日)

オアフ島をベースとする研修プログラム

事前研修におけるDVD講義「ハワイの観光開発」(ウエノ教授)の内容を、それぞれの現地に出向き実体験する。

ワイキキ・ビーチの乱開発 ⇄ マスタープランによる開発の比較

ハナウマ・ベイにおける環境保護対策とその運営

アコモテーション・ミックスを学ぶ見学

高級リゾートホテルのオペレーション体験

開発に伴うマイナスイ面としての交通渋滞などの現状視察

JTBハワイのオペレーション体験

ツーリストとしてのハワイとローカルとしてのハワイの比較

地元の日常生活の体験を通し次世代観光の方向を探る、他

★ オアフ島滞在中の宿舎は: ハワイ大学 イーストウエストセンター 寄宿舍

平成21年度 教養科目指導助言者一覧

科目名	受講者数	月	日	職業等	先輩	取締役	会社員	NP0代表等	その他
わかやままちづくり実践論	283	4	16	湯浅町商工会事務局長				1	
わかやままちづくり実践論		4	23	農業法人株式会社秋津野取締役		1			
わかやままちづくり実践論		4	30	那智勝浦町農業委員会事務局長				1	
わかやままちづくり実践論		5	7	元すさみ町商工会事務局長				1	
わかやままちづくり実践論		5	14	ノアすさみ株式会社代表取締役			1		
わかやままちづくり実践論		5	21	竜神はあと代表					1
わかやままちづくり実践論		5	28	ピオトーブ切目川代表					1
わかやままちづくり実践論		6	4	丹鶴商店街連合会会長					1
わかやままちづくり実践論		6	18	NPO共育学舎代表					1
わかやままちづくり実践論		7	2	熊野水軍古座河内祭のタベ実行委員会委員長					1
わかやままちづくり実践論	7	9	農事組合法人古座川ゆず平井の里組合長					1	
わかやままちづくり実践論	6	3	有限会社シーエスビー代表取締役			1			
女性起業論	231	6	カラコーデーネーター					1	
女性起業論		7	8	農業法人株式会社秋津野代表取締役		1			
女性起業論		11	26	株式会社エフエムマザーシップ代表取締役				1	
女性起業論		8	4	朝日カルチャーセンター社長				1	
現代マスコミ論	147	8	朝日放送制作局長プロデューサー					1	
現代マスコミ論		8	5	朝日放送新聞大阪本社読者サービス室長				1	
現代マスコミ論		8	6	株式会社エグゼクティブ大阪社長				1	
現代マスコミ論		8	7	同志社大学講師					1
現代マスコミ論		11	11	特定社会保険労務士・経済学部卒	1				
現代マスコミ論		11	11	社会保険労務士・キャリアコンサルタント					1
現代マスコミ論		11	11	社会保険労務士		1			
現代マスコミ論	11	11	特定社会保険労務士・経済学部卒					1	
現代マスコミ論	11	11	社会保険労務士・キャリアコンサルタント					1	
現代マスコミ論	11	11	社会保険労務士・行政書士					1	
現代マスコミ論	11	25	学生(和歌山県警察事務 内定)		1				
現代マスコミ論	11	25	学生(日本通運株式会社 内定)		1				
現代マスコミ論	11	25	学生(南海電鉄株式会社 内定)		1				
現代マスコミ論	11	25	学生(本田技研工業株式会社 内定)		1				
現代マスコミ論	11	25	学生(株式会社大和総研 内定)		1				
現代マスコミ論	11	25	学生(東海旅客鉄道株式会社 内定)		1				
現代マスコミ論	1	13	教育学部卒・和歌山県男女共生社会推進センター”りいぶる”		1				
現代マスコミ論	1	13	経済学部卒・株式会社帝国データバンク		1				
現代マスコミ論	1	13	経済学部卒・株式会社NTT西日本		1				
現代マスコミ論	1	13	経済学部卒・三洋電機株式会社		1				
現代マスコミ論	1	13	経済学部卒・みずほ銀行		1				
和歌山県トップ企業経営論	311	5	7	株式会社島精機製作所代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		5	14	株式会社紀陽銀行		1			
和歌山県トップ企業経営論		5	21	株式会社和歌山放送代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		5	28	株式会社東洋精米機製作所代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		6	4	中野BC株式会社代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		6	11	株式会社東農園代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		6	18	株式会社信濃路代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		7	2	株式会社サイバーリンクス代表取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		7	9	株式会社松源専務取締役		1			
和歌山県トップ企業経営論		7	16	キナナン代表取締役		1			

資料1-1-8 卒業生アンケート結果と、その反映内容

教養教育に関する卒業生アンケートより

教養として求められる能力の高いものを3つ挙げてください？

平成20年12月1日

	平成16年3月卒			平成17年3月卒			平成18年3月卒			平成19年3月卒			平成20年3月卒			計		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
回答者数	68			57			62			58			55			300		
回答数	68	65	52	57	54	49	62	58	49	58	57	53	55	51	47	300	285	250
	185			160			169			168			153			835		
・討論能力・コミュニケーション能力	27	14	6	17	12	5	18	9	7	20	9	10	10	11	3	92	55	31
	47			34			34			39			24			178(21.3%)		
・プレゼンテーション能力	15	5	10	12	8	6	14	8	5	17	13	5	12	12	8	70	46	34
	30			26			27			35			32			150(18.0%)		
・情報能力	9	10	6	9	6	7	10	9	5	1	3	4	5	3	4	34	31	26
	25			22			24			8			12			91(10.9%)		
・課題発見能力	9	12	7	4	5	3	1	6	6	2	2	7	8	0	2	24	25	25
	28			12			13			11			10			74(8.9%)		
・問題解決力	0	1	3	0	3	2	1	0	0	9	9	6	6	9	11	16	22	22
	4			5			1			24			26			60(7.2%)		
・発想力	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	6	1	4	9	3	6	16
	1			1			0			9			14			25(3.0%)		
・各種リテラシー・その他	7	23	20	15	20	25	18	26	26	8	19	15	13	12	10	61	100	96
	50			60			70			42			35			257		

授業科目名 (英語表記)	メンバーとして学ぶプロジェクトマネジメント									
	Project Management for Members									
対象 学生	全学部 全学年	開講 期間	前期	授業 時間	集中	単位数	2	授業 形態	講義	演習
担当 教員	秋山演亮		研究室 (オフィスアワー)		クリエールーム 火曜日 13時～15時					
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】 和歌山県内の6大学・高専が実施する、「戦略的大学間連携支援事業」の一環として開講する。同事業が計画する「『日光』を通じて『医療』『農業』『工業』『商業』をプロデュースし、コーディネートできる人材の育成」を目的とし、その根幹となる「プロジェクトマネジメント」を実践的に体験し、メンバーとしての活動を学ぶ。										
【授業計画】 授業は6大学の共通授業として実施する。授業は5回に分けた集中講義とする。 1～3回 各大学で受講可能なTV授業システムを利用する。プロジェクトマネジメントに関する概論と机上演習を実施し、具体的なマネージメント手法に関し学ぶ。 4～6回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。6大学の学生をチームにわけ、計画・立案を実践的に学習する。 7～9回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。各チームが、前回は計画・立案したものを実施する。実行に当たっての問題点等を学ぶ。 10～12回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。各チームが計画・立案・実施した内容を振り返り、問題点等を洗い出す。また成果発表に向けた準備を行う。 13～15回 各大学で受講可能なTV授業システムを利用する。各チームが実施した企画に関する発表会を行う。										
【到達目標】 4, 回での計画立案/実施に関する経験を積む。										
【成績評価基準】 80%以上の出席を必要とする。成績評価はレポートの評価にて行う。										
【教科書】 無し										
【参考書】 無し										
【履修上の注意・メッセージ】 ※校までの授業では「個人の成績表」が結果として出てきましたが、社会に出ると「チームとしての成果」が問われます。本授業では、「チームの一」としてどのように活動するかを学びます。これは今後、社会に出て全ての分野で必要とされる概念・知識・技術です。積極的な参加を望みます。										

授業科目名 (英語表記)	リーダーとして学ぶプロジェクトマネジメント									
	Project Management for Leaders									
対象 学生	全学部 全学年	開講 期間	後期	授業 時間	集中	単位数	2	授業 形態	講義	演習
担当 教員	秋山演亮		研究室 (オフィスアワー)		クリエールーム 火曜日 13時～15時					
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】 和歌山県内の6大学・高専が実施する、「戦略的大学間連携支援事業」の一環として開講する。同事業が計画する「『日光』を通じて『医療』『農業』『工業』『商業』をプロデュースし、コーディネートできる人材の育成」を目的とし、その根幹となる「プロジェクトマネジメント」を実践的に体験し、リーダーとしての活動を学ぶ。										
【授業計画】 授業は6大学の共通授業として実施する。授業は5回に分けた集中講義とする。 1～3回 各大学で受講可能なTV授業システムを利用する。プロジェクトマネジメントに関する概論と机上演習を実施し、具体的なマネージメント手法に関し学ぶ。 4～6回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。6大学の学生をチームにわけ、計画・立案を実践的に学習する。 7～9回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。各チームが、前回は計画・立案したものを実施する。実行に当たっての問題点等を学ぶ。 10～12回 和歌山大学サテライト(予定)にて開催する。各チームが計画・立案・実施した内容を振り返り、問題点等を洗い出す。また成果発表に向けた準備を行う。 13～15回 各大学で受講可能なTV授業システムを利用する。各チームが実施した企画に関する発表会を行う。										
【到達目標】 集団での計画立案/実施に関する経験を積む。										
【成績評価基準】 80%以上の出席を必要とする。成績評価はレポートの評価にて行う。										
【教科書】 無し										
【参考書】 無し										
【履修上の注意・メッセージ】 前期に開講された「メンバーとして学ぶプロジェクトマネジメント」に続く授業。前期の授業がメンバーとしての活動であったのに対し、本授業では、「チームのリーダー」としてどのように活動するかを学びます。これは今後、社会に出て全ての分野で必要とされる概念・知識・技術です。積極的な参加を望みます。										

資料1-1-9 海外への学生派遣状況

学生派遣(20年度)

氏名	種別	国	目的	期間	日数
	M-2	連合王国 フランス	ケンブリッジ大学における「聴覚における寸法情報と音声処理に関する会議」とパリでの「音響学会'08」研究成果発表補助および情報収集	20.6.25~7.6	12
	M-2	連合王国 フランス	〃	20.6.25~7.6	12
	D-2	中国	内モンゴル生態調査の補助	20.9.3~9.16	14
	M-1	アメリカ	〃	20.11.9~11.14	6
	D-2	アメリカ	2008 MRS Fall Meeting に出席し、研究発表補助および情報収集	20.12.1~12.7	7
	D-3	アメリカ	ICPR2008 に出席し、研究発表補助および資料収集	20.12.6~12.13	8
	D-3	アメリカ	〃	20.12.6~12.13	8
	M-1	アメリカ	〃	20.12.6~12.13	8
	M-1	アメリカ	〃	20.12.6~12.13	8
	D-1	ベトナム	PRICAL2008 に出席し、研究発表補助および資料収集	20.12.16~12.21	6
	M-2	ベトナム	KISS2008 に出席し、研究発表補助および情報収集	20.12.21~12.25	5
	M-2	連合王国	第35回AES国際会議に出席し、発表補助および情報収集	21.2.10~2.15	6
	D-1	アメリカ	IWIC2009 に出席し、研究発表および情報収集	21.2.19~2.23	5

学生派遣(21年度)

氏名	種別	国	目的	期間	日数
	D-2	アメリカ	HCI international 2009に出席し、研究成果の発表補助および情報収集	21.7.20~7.26	7
	M-1	アメリカ	〃	21.7.21~7.26	6
	M-1	アメリカ	HCI international 2009に出席し、山岡主催のセッションとポスター発表の補助	21.7.21~7.26	6
	D-3	アメリカ	〃	21.7.21~7.26	6
	D-2	オーストラリア	CollabTech2009に出席し、研究成果の発表補助および情報収集	21.8.10~8.16	7
	M-1	アメリカ	IWIN2009国際会議に出席し、発表補助を行うとともに絵文字に関する実験の補助を行う	21.9.13~9.19	7
	M-1	アメリカ	〃	21.9.13~9.19	7
	M-1	アメリカ	〃	21.9.13~9.19	7
	M-2	中国	国際会議ModelCARE2009に出席して研究発表補助および情報収集	21.9.19~9.24	6
	M-2	中国	第10回西太平洋音響学会議に参加し、研究成果発表補助および情報収集	21.9.20~21.9.24	5
	D-1	韓国	〃	21.10.20~10.22	3
	M-2	イタリア	MAVEBA2009国際会議に出席し、成果発表補助および情報収集	21.12.13~12.18	6
	M-1	中国	故宮博物館で資料収集	22.1.3~1.6	4
	M-2	中国	〃	22.1.3~1.6	4
	D-2	アメリカ	国際会議C5 2010に出席し、研究成果の発表および情報収集	22.1.24~1.29	6

資料1-1-10 学生の共同研究への参加状況

番号	発令日	旅行者	開始日	終了日	用務先	財源	目的	所管	用務内容	旅行区分	旅費支給
411	21.12.16		21.12.25	21.12.25	富田林寺内町を守り育てる会	共同研究	E鈴木 食と景観	鈴木	その他(研究調査補助)	旅行依頼	全額
413	21.12.2		21.12.7	21.12.7	河合酒造	共同研究	E鈴木 食と景観	鈴木	その他(研究調査補助)	旅行依頼	全額
478	22.1.20		22.1.30	22.1.31	東牟婁郡菓子組合 他	寄附金	和歌山県地 域研究助成	鈴木	その他(研究調査補助)	旅行依頼	全額
521	22.2.18		22.2.23	22.2.23	十紀和屋 他	寄附金	和歌山県地 域研究助成	鈴木	その他(研究調査補助)	旅行依頼	全額
522	22.2.18		22.2.25	22.2.25	姫路市菓子組合	寄附金	和歌山県地 域研究助成	鈴木	その他(研究調査補助)	旅行依頼	全額

資料1-1-11 教員免許状取得プログラム

教員免許状取得プログラム

本プログラムでは、通常の大学院修士課程の履修とともに、科目等履修生として学部の教員養成カリキュラムを履修することにより、教育職員免許状（一種または二種）の所要資格を得ることができる。この場合、科目等履修生にかかる検定料、入学料、授業料は免除される。また、長期履修学生制度を活用することができる。

所要資格を得ることのできる教員免許状は、小学校、中学校（各教科）、高等学校（各教科）、幼稚園および特別支援学校の教員免許状（一種または二種）のいずれかである。

なお、本プログラム受講生には、自由選択科目の「授業・カリキュラムづくり実践研究A」「授業・カリキュラムづくり実践研究B」「教育実践総合研究」の3科目から2科目4単位履修を義務づける。

和歌山大学大学院教育学研究科教育職員免許状取得プログラム取扱要領

制定 平成21年1月29日

（趣旨）

1 大学院教育学研究科に在籍する学生（研究生及び科目等履修生を除く。）が、教育職員免許状の取得の所要資格を得ることができるプログラム（以下「教育職員免許状取得プログラム」という。）を設け、その実施に必要な事項を定める。

（申請資格）

2 教育職員免許状取得プログラムの受講を申請できる者は、大学院の入学者選抜試験に出願した者とする。

（申請）

3 教育職員免許状取得プログラムの受講を申請する者は、別に定める教育職員免許状取得プログラム受講申請書及び履修計画書を、入学試験の出願期限までに書類と併せて提出しなければならない。

（受入れ人数）

4 受入れ人数は、15名程度とする。

（取得できる免許）

5 取得できる免許は原則として1つとする。ただし、同一教科名の中学校・高等学校教諭の免許、特別支援学校教諭の免許とその基礎資格の小学校又は中学校教諭免許等は1つとみなす。

（選考及び許可）

6 教育職員免許状取得プログラム受講者の選考は、第3項の申請に基づき、大学院の入学者選抜試験に合格した者の中から、在籍する専修と協議の上、教務委員会が選考し、研究科長が許可する。

（長期履修制度の適用）

7 教育職員免許状取得プログラムの受講者は、長期履修学生制度を適用することができる。

（履修期間）

8 教育職員免許状取得プログラムの受講者は、原則として許可された履修期間を変更することができない。

（その他）

9 この要項に定めるもののほか、教育職員免許状取得プログラムの実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成21年1月29日から施行し、平成21年度入学生から適用する。

2 平成21年度については、第3項の規定にかかわらず、別に定める期間にプログラム受講の申請をすることができるものとする。

[このページのTOPへ](#)

和歌山大学教育学部に関するお問い合わせはこちらまで

| 所在地：〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930和歌山大学教育学部 | 電話番号：073-457-7141 | E-mail：edu-admin@center.wakayama-u.ac.jp | 用件別お問い合わせ一覧 |

コミュニケーションカード

授業日：平成21年6月24日 授業名：技術経営基礎
学生番号：(博士前期 年、後期3年) 氏名：

1. 今回の授業で一番勉強になった点または一番印象に残った点は何ですか。

- ・ モデルリング手法の重要性と経験則の活用
- ・ ISM解析

2. 今回の授業で学んだことを今後どのように生かせると思いますか。
 大学院や教員生活の概要を学べたと思う。また、これは実際の問題を
 通す外に、身につけたいと思うので、自身(しかも)新しく習い始めたい
 所、物性要因図と大規模複雑システムに適用可能な例として挙げられた
 いたが、問題分布手法とISMの有用性に感じた。例えば、あるデータを測定して、
 再現性を得られぬ場合の解決法などについてある。この際、「組織力」との
 本語も出ていたが、これは重要だと思ふ。また、「文書化」しても全く後に
 たない事例も出てくる(環境や他の要因も含めて)ので、これに対する対応も学びたい
 3. 技術経営に関係すると思われる内容で今後どのような話が聞きたいですか。

4. 授業の内容に関する質問があれば書いてください。
 線形モデルを構築すべき事例と、非線形モデルの例をもとに示し
 いた方がいいかと。また、その中の事例は線形、非線形、どちらのモデル
 の方が多いのか。または、ISMのモデルに適用するべきか、
 経験則も踏まえた適用基準の例も示していただけると、勉強になります
 と思ふ。

コミュニケーションカード

授業日：平成21年7月22日 授業名：技術経営基礎
学生番号：(博士前期 年、後期3年) 氏名：

1. 今回の授業で一番勉強になった点または一番印象に残った点は何ですか。

開発資金が多すぎて、チームを上昇に組織できなければ、事業が失敗
 株、設計思想が優れていても、現実的でなければ、途中で中絶
 せざるを得ない、これは、社会で生じる上でも、いろいろな場合で
 起こりうることで感じられた。

2. 今回の授業で学んだことを今後どのように生かせると思いますか。
 どのように優れた人がも限界を感じることがあるとわかったので、
 現実に出た行動を心がけるようにしたいと思ひます。

特に、技術に思うことは、その時々で「急務も必要だと改め
 込んだ」ので、今後の研究開発活動や生活方針にも生かせると思ひます。

3. 技術経営に関係すると思われる内容で今後どのような話が聞きたいですか。
 人生お望みの連続したと思うので、先人たちがどこで、どのような
 判断に基づいて、その時々の選択をされたのか？ また、その
 選択の結果、どのような結果になったのか？ それらの裏側をわかると
 な話があればよいと思ふ。先人の知恵・生きた証をここで、技術経営への社
 会のニーズ・反映の軌跡もわかると思うので、是非聞かせてほしい。

4. 授業の内容に関する質問があれば書いてください。
 今回の本話だと、EDVACとEDSAC、JSEMなどは
 個別に各自技術の元、開発していったおなじみの印象を受けました。
 横のつながり、研究者間の情報交換等は全くなかったのか、
 気になりました。また、いかにライバルに出し抜かれたのかにも興味があ
 ります。

資料1-2-1 高校との情報交換を通じた入試方法の改善

平成 20 年度高校訪問報告書より高校側コメントの抜粋

- ・ 評定平均 4.0 をクリアする生徒は和太以外の大学に進学するため、推薦入学でのチャレンジが減っている。
- ・ 市大、府大は、推薦入学で評定平均を外している。

平成 21 年度和歌山大学入学者選抜要項 p31 より抜粋

面接・推薦書・志望理由書・調査書・スポーツ活動実績
300

平成 22 年度和歌山大学入学者選抜要項 p31 より抜粋

小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書・スポーツ活動実績	合計
100	200	300

平成 21 年度和歌山大学入学者選抜要項 p32 より抜粋

次の条件にすべて該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者。

- (1)志望学科での学習に強い意欲をもつ者。
- (2)高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者または平成 21 年 3 月卒業見込みの者、あるいは、高等専門学校 3 年次を平成 21 年 3 月修了見込みの者。
- (3)調査書の全体の評定値が 4.0 以上の者（出願時直前の学期までの成績によります。）。
- (4)合格した場合、入学することが確約できる者。

平成 22 年度和歌山大学入学者選抜要項 p32 より抜粋

次の条件にすべて該当し、出身学校長が責任をもって推薦できる者。

- (1)高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者または平成 21 年 3 月卒業見込みの者、あるいは、高等専門学校 3 年次を平成 22 年 3 月修了見込みの者。
- (2)学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者。
- (3)合格した場合、入学することが確約できる者。

平成 21 年度和歌山大学入学者選抜要項 p32 より抜粋

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計
	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点	
情報通信システム学科	(略)	(略)	(略)	面接	1100	2200
		計 4 教科 6 科目	1100			
光メカトロニクス学科	(略)	(略)	(略)	面接	1000	2000
		計 5 教科 7 科目	1000			
デザイン情報学科	(略)	(略)	(略)	面接	1000	2000
		計 5 教科 7 科目	1000			

平成 22 年度和歌山大学入学者選抜要項 p32 より抜粋

学科名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		合計
	教科	科目名等	配点	教科・科目名等	配点	
情報通信システム学科	(略)	(略)	(略)	面接	500	1600
		計 4 教科 6 科目	1100			
光メカトロニクス学科	(略)	(略)	(略)	面接	500	1500
		計 5 教科 7 科目	1000			
デザイン情報学科	(略)	(略)	(略)	面接	500	1500
		計 5 教科 7 科目	1000			

資料1-2-2 社会人を考慮した入学者選抜方法

平成 21 年度和歌山大学入学者選抜要項 p36 より抜粋

大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接により総合して判定します。

平成 22 年度和歌山大学入学者選抜要項 p36 より抜粋

大学入試センター試験を免除し、筆記試験（小論文）、面接により総合して判定します。

「和歌山大学大学院システム工学研究科社会人博士後期課程学生の募集」ちらし抜粋

○プログラムの特色

1. 出向指導

職業と修学の両立を図るため、研究計画上必要な場合、指導教員等が勤務先・関係研究機関に出向いて指導を実施します。

2. 学外専門家による指導

研究発表を支援するため、学外専門家による指導等の研究支援を実施します。

3. 授業料の免除

職業と修学の両立を図るため、本人の申請により授業料の免除（全額または半額）を実施します。ただし、経済状況等により免除できない場合もあります。

※学生支援課より

再チャレンジ支援経費による授業料免除者(博士後期課程)

	全額免除	半額免除
H20 前期	5	9
H20 後期	4	11
H21 前期	6	11
H21 後期	7	10

資料1-2-3 地域ニーズを考慮した入学者選抜方法

平成20年度高校訪問報告書より高校側コメントの抜粋

- ・ 評定平均4.0をクリアする生徒は和大以外の大学に進学するため、推薦入学でのチャレンジが減っている。
- ・ 市大、府大は、推薦入学で評定平均を外している。

平成21年度選抜状況より

システム工学部推薦入試

募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
35	60	60	31	31

平成22年度選抜状況より

システム工学部推薦入試

募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
35	117	112	32	32

平成23年度観光学部A〇入試学生募集要項 p1より

〇入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

- ⑤ 観光を通じた地域再生の問題に関心がある人
- ⑥ 国際的な交流や、国内外の様々な地域の文化に関心がある人

資料1-2-4 社会人の博士後期課程への入学状況

博士後期課程社会人学生受入状況

平成20年度入学者:社会人20名/入学者23名/入学定員16名

クラス	勤務先	実務経験	研究題目
知的計測	(株)ヒカリ	企業:10年0月	レーザー変調を用いた格子投影による3次元形状計測装置の開発
知能メディアシステム	和歌山大学経済学部准教授	企業:12年0月	動的評価による発見的探索手法
デザイン科学	(株)サイバーリンクス	企業:7年0月	Webサービスに向けたアプリケーションパターン分析とフレームワーク設計
光マイクロシステム	紀州技研工業(株)	企業:19年0月	産業用インクジェットプリンタの高機能化に関する研究
デザイン科学	三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)	企業:24年0月	組み込みソフトウェアにおける要求割付けの規則化
知的計測	紀州技研工業(株)	企業:5年0月	高速・高精度な文字認識に関する研究
コミュニケーション科学	(株)サイバーリンクス	企業:24年0月	EHRに対応した地域医療連携システムに関する研究
知能メディアシステム	川崎重工業(株)	企業:20年0月	二輪車の運動性能と安定性の研究
知的計測	(株)島精機製作所	企業:27年0月	糸の物性測定と計測手法の研究
知能メディアシステム	三菱電機(株)	企業:18年0月	異種製造・設計分析による設計制約の統合手法の研究
知的計測	三菱電機(株)	企業:14年0月	離散最適化を用いた画像認識に関する研究
デザイン科学	富士通(株)	企業:12年0月	インタビュー方法によるユーザリクアイアメントの抽出
コミュニケーション科学	Cantabery,Inc	企業:20年1月	生活習慣病予防支援システムに関する研究
知能メディアシステム	三菱電機(株)	企業:16年0月	事例の体系化に基づく効率的設計レビューによる製品開発・品質管理手法の研究
コミュニケーション科学	NECシステムテクノロジー(株)	企業:6年0月	ソフトウェアの設計・開発の効率化に関する研究
知的計測	アソート(株)	企業:32年0月	光・超音波を応用した褥瘡発生予測診断ネットワークシステムの実用化研究
デザイン科学	(株)NTTデータ	企業:19年0月	要求記述の構成要素分解と依存解析による要求品質管理
デザイン科学	エムエムエスマンションマネージメントサービス(株)	企業:21年0月	地方都市(あるいは中小都市)における中心市街地活性化(あるいは都心部魅力化)に関する研究(仮)
デザイン科学	(株)都市空間研究所	企業:32年0月	地方都市(あるいは中小都市)における人口減少、少子高齢化等の時代変化(あるいは低成長期)に対応した都市計画の研究(仮)
コミュニケーション科学	日本技術開発(株)	企業:11年0月	帯水層における有機ヒ素化合物の動態解明と汚染浄化効果予測に関する研究

平成21年度入学者:社会人10名/入学者13名/入学定員8名

クラス	勤務先	実務経験	研究題目
物質科学	花王株式会社 解析研究科学研究所研究員	企業:11年0月	原子間力顕微鏡を用いる生体系物質のセンシング及びイメージング
環境社会情報	ダイハツ工業株式会社 第2デザイン部	企業:1年0月	対数美的曲面創成手法の開発およびその工業デザインへの応用
環境社会情報	大阪教育大学	企業:3年1月	食品系廃棄物資源利活用のシステム評価に関する研究
光マイクロシステム	東京エレクトロンAT(株)	企業:25年0月	低コヒーレンス干渉計を用いたプラズマエッチング中の基板温度モニタリングに関する研究
知能メディアシステム	日世株式会社東京工場コーン生産部保全課	企業:15年0月	農作業用空気圧駆動パワーアシストスーツの研究
物質科学	新中村化学工業株式会社 研究開発部	企業:4年0月	アリアルカルコゲナナフタレンの構造とその決定因子の解明:実験的および理論的研究
環境社会情報	兵庫県美方郡香美町立射添中学校 教諭	企業:27年6月	兵庫県北部地域の河川水の水質と水生生物の関係
デザイン科学	ネイチャーコアサイエンス株式会社 代表取締役	企業:26年0月	新しいコンセプトの筋力トレーニングマシンが、高齢者の運動に対する意識付け、持続性に与える影響に関する研究
デザイン科学	株式会社操作デザイン 設計 代表取締役	企業:20年0月	自然、作法などの基づくユーザフレンドリーなユーザインタフェース設計方法の検討
デザイン科学	TISシステムサービス(株)	企業:11年0月	モバイルコミュニティのためのネットワークとアプリケーションに関する研究

資料1-2-5 標準履修モデル

1. 標準履修モデル

1 年次第 1 学期(前期)	1 年次第 2 学期(後期)
受講登録単位数の制限 半期 19 単位 (専門教育科目は年間 16 単位まで)	受講登録単位数の制限 半期 19 単位 (専門教育科目は年間 16 単位まで)
必修科目	必修科目
観光入門 2 単位	基礎演習Ⅱ 2 単位
情報基礎演習 2 単位	
基礎演習Ⅰ 2 単位	
選択必修科目(日本文化科目)	選択必修科目(日本文化科目)
1 年次に全科目履修	1 年次に全科目履修
選択科目	選択科目
簿記原理 2 単位	外国語(第 1 外国語)
経営学 2 単位	英語Ⅱ 2 単位
選択 0~2 単位	英会話Ⅱ 2 単位
外国語(第 1 外国語)	外国語(第 2 外国語)
英語Ⅰ 2 単位	[英語以外を選択した場合]
英会話Ⅰ 2 単位	選択 4 単位
スポーツ健康科目	スポーツ健康科目
保健体育講義 2 単位	保体体育実技 B 1 単位
保健体育実技 A 1 単位	
	専門基礎科目(学部共通・所属学科)
	ホスピタリティマネジメント 2 単位
	観光学総論 2 単位
	選択 2~8 単位
※選択必修科目(日本文化科目)は、受講登録単位数の制限に含めません	

2 年次第 1 学期(前期)	2 年次第 2 学期(後期)
受講登録単位数の制限 半期 18 単位	受講登録単位数の制限 半期 18 単位
選択科目	選択科目
選択 0~2 単位	選択 0~2 単位
外国語(第 2 外国語)	外国語(第 2 外国語)
[英語を選択した場合]	[英語を選択した場合]
英語Ⅲ 2 単位	英語Ⅳ 2 単位
英会話Ⅲ 2 単位	英会話Ⅳ 2 単位
[英語以外を選択した場合]	
選択 4 単位	
専門基礎科目(学部共通・所属学科)	専門基礎科目(学部共通・所属学科)
選択 0~6 単位	選択 0~6 単位
専門コア科目(学部共通・所属学科)	専門コア科目(学部共通・所属学科)
選択	選択
他学科専門科目(他学科)	他学科専門科目(他学科)
選択	選択
※専門コア科目、他学科専門科目は、自分自身の関心や希望する進路をもとに、計画的に履修してください	
自主演習	自主演習
観光学部自主演習	観光学部自主演習
※自主演習は、受講登録単位数の制限に含めません	

3 年次(前期・後期)	4 年次(前期・後期)
受講登録単位数の制限 半期 18 単位	受講登録単位数の制限 半期 18 単位
選択科目	選択科目
選択 0~2 単位	選択 0~2 単位
専門コア科目(学部共通・所属学科)	専門コア科目(学部共通・所属学科)
選択	選択
専門支援科目(学部共通・所属学科)	専門支援科目(学部共通・所属学科)
選択	選択
他学科専門科目(他学科)	他学科専門科目(他学科)
選択	選択
※専門コア科目、専門支援科目、他学科専門科目は、自分自身の関心や希望する進路をもとに、計画的に履修してください	
専門演習・卒業論文	専門演習・卒業論文
専門演習Ⅰ 4 単位	専門演習Ⅱ・卒業論文 8 単位
インターンシップ	
インターンシップ 2~4 単位	
自主演習	
観光学部自主演習	
※専門演習、インターンシップ、自主演習は、受講登録単位数の制限に含めません	

資料1-2-6 到達目標と、授業評価アンケート結果

到達目標(例示)

授業科目名 (英語表記)		熊野古道と世界遺産 Kumano pilgrimage routes and World Heritage							
対象 学生	全学部 全学年	開講 期間	後期	授業 時間	水曜 4時限	単位数	2	授業 形態	講義
担当 教員	坪井恒彦		研究室 (オフィスアワー)						
【授業のねらい・概要・科目の位置付け】 わが国10件の世界文化遺産として2004年に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」を、主に観光学の視点から読売新聞社で報道に携わるデスク級のベテラン記者を中心に、専門の研究者、観光行政の責任者、観光の現場で活躍する企業人やボランティアなどを交えた講師陣でリレー式に講義する。各講師には、地域の活性化、文化交流、観光経営などのテーマを意識しながらそれぞれのキャリア、現場体験に応じた講義をしてもらいつつ、コーディネーターを兼ねる坪井が全体の体系化を図りたい。									
【授業計画】 1. 「ガイドス—観光学と世界遺産をどう捕らえるか」 2. 「紀伊山地と周辺の風土・歴史—『旅』の原点としての視点から」 3. 「熊野古道—民俗としての交通・情報のルート」 4. 「世界遺産 熊野詣の魅力」 5. 「和歌山県政と地域経済、そして観光」 6. 「世界遺産と観光業の両立—どうイベント化するか」 7. 「世界遺産と観光行政—地域おこしとは」 8. 「これからの観光を考えるキーワード—生物多様性、地球温暖化……」 9. 「観光という視点からみた災害文化—世界遺産と災害」 10. 「外国人の観光への視点—霊場と吹米からのツアー客」 11. 「紀伊山地の自然保護と観光—地域の開発とその生態への影響」 12. 「高齢化社会における観光—『福祉』の視点と『癒やし』の心」 13. 「正倉院文化の源流、シルクロードで—文化遺産の現状とあり方」 14. 「再考・世界遺産と熊野古道と観光戦略—その由来と現状、将来」 15. 「総括・レポート指導など」									
【到達目標】 「紀伊山地の霊場と参詣道」を通して世界遺産と観光をめぐる様々な可能性と課題について、各学生が自身の考え方を確立すると同時に、それらを対外的に表現しうる文章力を養成する。									
【成績評価方法】 最終の期末試験60%+レポート20%+出席点20%									
【教科書】 毎回の講義時に各講師作成の資料プリントを配布する。									
【参考書】 世界遺産年報2009、著：社団法人日本ユネスコ協会連盟編、出版：日経ナショナルジオグラフィック社、ISBN:9784863130623									
【履修上の注意・メッセージ】 報道や観光の第一線で活躍している講師たちに、現場の空気が伝わるような講義をお願いしているので実社会の雰囲気を感じたいながら勉強して欲しい。									

平成21年度前期「教養科目の授業アンケート」

IV-1-3. 授業のねらい・目当てがよく理解できる。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全くそう思わない	122	2.1	2.1
2	どちらかというと思わない	334	5.6	5.7
3	どちらでもない	1151	19.4	19.5
4	どちらかというと思う	2210	37.3	37.4
5	確かにそう思う	2085	35.2	35.3
	無回答	25	0.4	
	サンプル数(%ベース)	5927	100.0	5902

} 72.7

平成21年度後期「教養科目の授業アンケート」

IV-1-3. 授業のねらい・目当てがよく理解できる。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全くそう思わない	82	1.5	1.5
2	どちらかというと思わない	258	4.6	4.6
3	どちらでもない	877	15.7	15.8
4	どちらかというと思う	2124	38.1	38.3
5	確かにそう思う	2208	39.6	39.8
	無回答	28	0.5	
	サンプル数(%ベース)	5577	100.0	5549

} 78.1

資料1-3-1 教育研究に係る教員評価の実施

国立大学法人和歌山大学教員活動状況評価に関する規程 制定 平成21年1月27日

(目的)
 第1条 国立大学法人和歌山大学教員活動状況評価(以下「本評価」という。)は、教員の教育・研究・社会貢献等の諸活動について、自己点検評価及び他者による評価(以下「他者評価」という。)を実施することにより、教員の自己改善・改革に役立てるとともに、教員の適切かつ公平な処遇に役立て、もって本学の教育・研究・社会貢献等の質の向上を図ることを目的とする。

(対象者)
 第2条 本評価の対象者は、本学専任の教授、准教授、講師及び助教とする。
 2 前項の者のうち、学部長については、学長がこの規程に準じて本評価を行うものとする。

(評価の領域)
 第3条 本評価は、教員の諸活動を教育、研究、社会貢献及び管理・運営の4領域に分類し、各領域における諸活動について別に定める活動状況報告書及び評価票(以下「報告書等」という。)に基づき実施する。

(和歌山大学規則集)

教育

【領域1:教育】 ※「領域1:教育」は、過去3年を対象とする。

[項目群A. 学部教育]
 1. 授業等(実験、演習、卒業論文指導、卒業研究、課題研究を含む)

年度	科目名	実働時間数	単位数	科目区分	担当教員数	受講登録者数	授業形式
2008	経済政策総論	30	2	専門教育	主	136	A
2008	住まい・街づくり論	30	2	専門教育	主	13	A
2008	観光学部自主演習C	30	2	専門教育	主	6	B

(教員活動状況評価活動状況報告書)

評価結果通知書

【教員活動状況評価】

(平成20年度)

所属学部等 **観光学部**
 職名 **講師**
 氏名

【総合評価】
 適切な活動が行われている。

【領域評価】
 教育活動領域の評価: A+

(各教員への評価結果の通知)

平成20年度教員活動状況評価結果に関する集計結果

【総合評価】

	全学	
S	91	(33.7%)
A	145	(53.7%)
B	19	(7.0%)
C	15	(5.6%)
計	270	

※領域別

【教育】

	全学	
S	36	(13.3%)
A	140	(51.9%)

⋮

【社会貢献】

	全学	
S	31	(11.1%)
A	94	(34.8%)

⋮

(評価結果の集計結果を全学ポータルサイトに掲載)

教員活動状況評価結果の処遇への反映について

国立大学法人和歌山大学教員活動状況評価に関する規程第13条第2項に規定する評価結果を用いた勤労手当の決定方法については以下のとおりとする。

- 1 12月の勤労手当について、前年度の教員活動状況評価結果を用いることとする。
- 2 勤労手当の支給額の決定基準I. 2. (2)の「特に優秀者」分を当該評価結果に係る処遇への反映分とする。
3. 2. に該当する者を評価結果が「S」(特に優れている)と判定された者の内から・・・

(教員活動状況評価結果の処遇への反映方法_評価委員会決定)

平成21年度 教員活動状況評価

1. 評価の実施
 別添「教員活動状況評価に関する規程」及び「教員活動状況評価実施細則」(以下「規程」という。)をご確認願います。
 ※平成21年度の教員活動状況評価から、評価結果が処遇に反映されることとなります。

(教員活動状況評価実施通知)

資料1-4-1 ハラスメント防止への取組

(ハラスメント防止講習会開催通知文)

教職員各位

学 長

和歌山大学セクシャルハラスメント防止講習会
の開催について(通知)

ハラスメントは、個人の尊厳及び人格を侵害するとともに、勤務環境や
修学環境を害する重大な問題です。

また、ハラスメントに関する懲戒処分事案の殆どは、教職員という立場
を悪用した学生及び大学院生等への行為であり、これらの行為が大学の
社会的信用及び信頼を損なう信用失墜行為にもあたることを、各教職員が
十分に認識しなければなりません。

この度は、ハラスメントの中でも比較的起こりやすいセクシャルハラス
メント防止に関しての講習会を、下記のとおり開催することといたします
ので、ぜひともご参加下さるようお願いいたします。

記

1. 日 時 平成21年12月18日(金) 15:00~16:30
2. 場 所 経済学部講義棟 E-101
3. 講 師 和歌山県男女共生社会推進センター”りいぶる”
センター長

資料1-4-2 障害のある学生への支援内容

2009年度 障害を有する学生への就学支援(ノートテイク、チューター、手話通訳)

《対象学生》

聴覚障害者1名：ノートテイカー、手話通訳者の配置

体幹機能障害1名：学生チューターの配置

高次脳機能障害学生1名：復学体験(10月実施)のノートテイカー及び学生チューターの配置

1. ノートテイク

月	延人員	実人員	謝金
4月	62	17	55,800
5月	72	16	64,800
6月	90	19	81,000
7月	56	17	50,400
8月	56	17	50,400
10月	100	31	90,000
11月	82	25	73,800
12月	82	26	73,800
1月	63	24	56,700
2月	8	6	7,200
計	671	198	603,900

198人÷10月

19.8/月

約20名

ノートテイク：1科目2名

2. 学生チューター

月	事 項	延人員(延回数)	実人員	謝金
4月	排便時の介助、ガイダンス・合宿研修での資料の出し入れ介助、移動時の介助、食事の配膳介助等	4	4	24,000
	授業前の移動・授業準備介助	76		
	昼食配膳・片付け介助	24		
	排便介助	54		
5月	授業前の移動・授業準備介助	82	5	8,200
	昼食配膳・片付け介助	30		
	排便介助	53		
6月	授業前の移動・授業準備介助	83	6	8,300
	昼食配膳・片付け介助	31		
	排便介助	57		
7月	授業前の移動・授業準備介助	46	4	4,600
	昼食配膳・片付け介助	17		
	排便介助	35		
10月	授業前の移動・授業準備介助	112	6	11,200
	昼食配膳・片付け介助	38		
	排便介助	74		
11月	授業前の移動・授業準備介助	96	6	9,600
	昼食配膳・片付け介助	36		
	排便介助	66		
12月	授業前の移動・授業準備介助	99	5	9,900
	昼食配膳・片付け介助	35		
	排便介助	63		
1月	授業前の移動・授業準備介助	75	6	7,500
	昼食配膳・片付け介助	28		
	排便介助	54		
2月(見込み)	授業前の移動・授業準備介助	30	6	3,000
	昼食配膳・片付け介助	10		
	排便介助	20		
計		1,428		238,900

3. 手話通訳

月	延人員	実人員	謝金
4月	2	2	54,918
7月	2	2	7,646
9月	2	2	58,836
計	6	6	121,400

4月：入学式、ガイダンス、新入生合宿研修

7月：教育実習入門Ⅰ

9月：教育実習入門Ⅰ

資料2-1-1 独創的研究支援プロジェクト

平成22年度「独創的研究支援プロジェクト」公募要項

別途公募することになっておりました、「地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業」については、下記のとおり公募を開始いたします。

(1) 公募対象事業及び公募期間

1. 大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実を図るためのプロジェクト事業

公募期間 平成22年3月8日～平成22年3月25日15:00 (期限厳守)

【お知らせ】すでに公募終了しました。

2. 地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業

公募期間 平成22年4月8日(木)～平成22年5月20日(木)15:00

(期限厳守)

(2) 申請要件

- ① 複数の研究者(学外者を含めてもよい)で構成された研究グループであること。
(なお、学外者に対しては、経費配分はできない)
- ② 申請は、地域の課題を対象とした研究とし、地域(自治体、市民団体等)からの人的・物的支援(施設利用など)の提供を前提とするので、申請にあたっては相手方と綿密な連携を取っておくこと。
(なお、課題の発見や地域との連携に関しては、紀南サテライトや岸和田サテライトの地域連携コーディネータが連携の窓口としてご協力いたします。)
- ③ 各年度に研究成果を公開で実施すること。

研究の課題例として以下に記しますが、あくまでも参考の例示です。

研究課題(例)

イ、新宮市熊野川行政局

過疎山村における高齢者の生活維持の課題

過疎山村の生活維持は、50年前と住民の年齢層が大きく変わり、道路が改良されたにもかかわらず、高齢者が集落での生活を維持するための生活に必要な買い物・医療・コミュニティ参加などへの移動手段が大きな課題である。

熊野川地域では、バス路線(168号線を除く)が3路線(小口路線・篠尾路線・玉置口路線)ありますが、乗車率は非常に低くなっています。

バス路線の維持は、住民にとって生活の命綱でもありますが、住民のニーズに合っていないのも原因の一つです。共同研究プロジェクトのお力をお借りして、住民のニーズに応える良い方法を見出せないでしょうか。

資料3-1-1 コーディネーターの配置状況

大学間交流協定等締結大学状況一覧

No.	国名	大学名	協定等数	協定内容等○内は交換学生数	世話学部	世話人 コーディネーター	
1	タイ王国	タイ国40地域総合大学コンソーシアム	2	近畿地区で交換②	L	京都教育 L松村	
2	大韓民国	慶北大学校人文学部	2	交換②	L	L柏原	
3	ベトナム社会主義共和国	ホーチミン市師範大学	2	交換②	L	L江田	
4	中華人民共和国	電子科技大学 (再検討中)	2	教官①、学生は別途協議	E	E椎木	
5		浙江師範大学	3	交換③、特設講座	L	L松村・柏原	
6		山東師範大学	3	交換③、短期留学	L	L松村	
7		山東大学	3	交換②、共同研究	L(E)	L松村/加藤	
8		吉林大学	2	交換③	E	E金澤	
9		東北财经大学	3	交換③、短期語学	T	T竹本	
10		首都師範大学	2	交換②	L	L松村	
11		華東師範大学体育健康学部	4	交換②	L	L加藤	
12		天津商業大学張家口茶道短期大学	1	一般協定のみのみ	T	T竹本	
13		上海市農業科学院	1	一般協定のみのみ	T	T藤田	
14		ドイツ連邦共和国	ゲッティンゲン・ゲオルク・アウグスト大学	1	一般協定のみのみ	E	E栗杉
15			ハイデルベルグ・ハイネ・デュッセルドルフ大学	1	一般協定のみのみ	E	E栗杉
16		フランス共和国	トロワ工科大学	2	交換各大学①計③	S	S藤田
17	コンピューター工科大学		S藤田				
18	ベルギー・モンペリエ工科大学		1	交換③	E	E菊谷	
19	ユームッド・マルセイユ・マゼノントスクール		1	交換②	L	L小園	
20	パリディエロ大学	1	交換②	L	L小園		
21	スペイン王国	サラゴッサ大学	2	学術のみ、交換検討中	保	H宮西	
22	オーストリア	ウィーン経済大学観光レジャー研究所	1	一般協定のみのみ	T	T竹本	
23	アメリカ合衆国	アリゾナ州立大学	1	交換⑤	E	E藤本	
24		西フロリダ大学	2	交換③		T長文	
25		ウイスコンシン大学 ミルウォーキー校	1	一般協定のみのみ	S	S足立	
26		東コネチカット州立大学	2	交換②	L	L土井	
27		オークランド大学	1	一般協定のみのみ	S	S藤田	
28		ブリッジウォーター州立大学	2	交換学部②又は院①	L	L市川	
29		ハワイ大学マノア校	2	交換②	T	T東	
30	セントラルフロリダ大学	2	交換②	T	T東		
31	グアテマラ共和国	サンカルロス大学	2	交換③	保	H宮西	
32	オーストラリア連邦	カーティン工科大学	3	交換②、短期語学	E	E藤本	
33		カーティン・ビジネス・スクール					
34		カーティン言語・異文化教育スクール					
33		デイキン大学	1	一般協定のみのみ	S	S	
34		クイーンズランド大学				T竹鼻	
35	マレーシア	マラ工科大学	2	交換②	T	T竹鼻	
36	ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学	1	一般協定のみのみ	T	T竹林	
37	英国	サリー大学				T竹鼻	
38	台湾	清華大学				S藤田	

大学ごとに
以上33名

資料3-1-2 国際学会への学生派遣状況

抜粋

学生派遣(20年度) (システム工学部) 国際学会参加

	学生種別	国	目的	期間	日数
20-1	M-2	連合王国 フランス	ケンブリッジ大学における「聴覚における寸法情報と音声処理に関する会議」とパリでの「音響学会'08」研究成果発表補助および情報収集	H20.6.25~7.6	12
20-2	M-2	連合王国 フランス	〃	H20.6.25~7.6	12
20-3	D-2	中国	内モンゴル生態調査の補助	H20.9.3~9.16	14
20-4	学部-4	アメリカ	CSCW2008国際会議に出席し、研究発表補助および資料収集	H20.11.9~11.14	6
20-5	M-1	アメリカ	〃	H20.11.9~11.14	6
20-6	D-2	アメリカ	2008 MRS Fall Meeting に出席し、研究発表補助および情報収集	H20.12.1~12.7	7
20-7	D-3	アメリカ	ICPR2008 に出席し、研究発表補助および資料収集	H20.12.6~12.13	8
20-8	D-3	アメリカ	〃	H20.12.6~12.13	8
20-9	M-1	アメリカ	〃	H20.12.6~12.13	8
20-10	M-1	アメリカ	〃	H20.12.6~12.13	8
20-11	D-1	ベトナム	PRICAL2008 に出席し、研究発表補助および資料収集	H20.12.16~12.21	6
20-12	M-2	ベトナム	KISS2008 に出席し、研究発表補助および情報収集	H20.12.21~12.25	5
20-13	M-2	連合王国	第35回AES国際会議に出席し、発表補助および情報収集	H21.2.10~2.15	6
20-14	D-1	アメリカ	IWIC2009 に出席し、研究発表および情報収集	H21.2.19~2.23	5

学生派遣(21年度)

	学生種別	国	目的	期間	日数
21-1	D-2	アメリカ	HCI international 2009に出席し、研究成果の発表補助および情報収集	H21.7.20~7.26	7
21-2	M-1	アメリカ	〃	H21.7.21~7.26	6
21-3	M-1	アメリカ	HCI international 2009に出席し、山岡主催のセッションとポスター発表の補助	H21.7.21~7.26	6
21-4	D-3	アメリカ	〃	H21.7.21~7.26	6
21-5	学部-4	アメリカ	〃	H21.7.21~7.26	6
21-6	D-2	オーストラリア	CollabTech2009に出席し、研究成果の発表補助および情報収集	H21.8.10~8.16	7
21-7	M-1	アメリカ	IWIN2009国際会議に出席し、発表補助を行うとともに絵文字に関する実験の補助を行う	H21.9.13~9.19	7
21-8	M-1	アメリカ	〃	H21.9.13~9.19	7
21-9	M-1	アメリカ	〃	H21.9.13~9.19	7
21-10	M-2	中国	国際会議ModelCARE2009に出席して研究発表補助および情報収集	H21.9.19~9.24	6
21-11	M-2	中国	第10回西太平洋音響学会議に参加し、研究成果発表補助および情報収集	H21.9.20~21.9.24	5
21-12	学部-4	韓国	IASDR(国際デザイン学会)で発表補助および資料収集	H21.10.18~10.22	5
21-13	学部-4	韓国	〃	H21.10.18~10.22	5
21-14	D-1	韓国	〃	H21.10.20~10.22	3
21-15	M-2	イタリア	MAVEBA2009国際会議に出席し、成果発表補助および情報収集	H21.12.13~12.18	6
21-16	M-1	中国	故宮博物館で資料収集	H22.1.3~1.6	4
21-17	M-2	中国	〃	H22.1.3~1.6	4
21-18	学部-4	中国	〃	H22.1.3~1.6	4
21-19	D-2	アメリカ	国際会議C5 2010に出席し、研究成果の発表および情報収集	H22.1.24~1.29	6

資料3-1-3 外国の研究者との学術交流

ブリッジフォーター州立大学
BSC 教授団（6名）来学日程

H.20
【日程】6月5日（木）

- 1 1時35分 JR 和歌山駅到着（天王寺より JR にて）
車にて出迎え、大学に案内
- 1 2時～1 3時 学内にて学長出席の昼食会
- 1 3時～1 4時 両大学のスタッフのミーティング
（場所は、教育学部棟5階の第2会議室です）
- 1 4時 和歌山市内見学に出発（和歌山城、附属学校など）
その後、JR 和歌山駅まで送る（5時をめど）

【訪問団メンバー】（○話題提供できるテーマ●日本側と交流したいテーマ）

- Prof. Jon Bryan ○アメリカ合衆国の雇用関係
●日本におけるビジネス・マネジメント
- Prof. Martin Grossman ○ビジネス・テクノロジー、情報マネジメント
●日本と世界におけるビジネス・マネジメント
- Prof. Walter Carroll ○アメリカ合衆国におけるスシの普及
●アメリカ社会についての教育
- Prof. Benjamin Carson ○日本文学とアメリカ文学
●同上
- Prof. Deborah Nemko ○西欧音楽と日本におけるその教育
●同上
- Prof. Wing-kai To ○アジア史

資料3-1-4 国際シンポジウム「和歌山から世界への移民」の開催



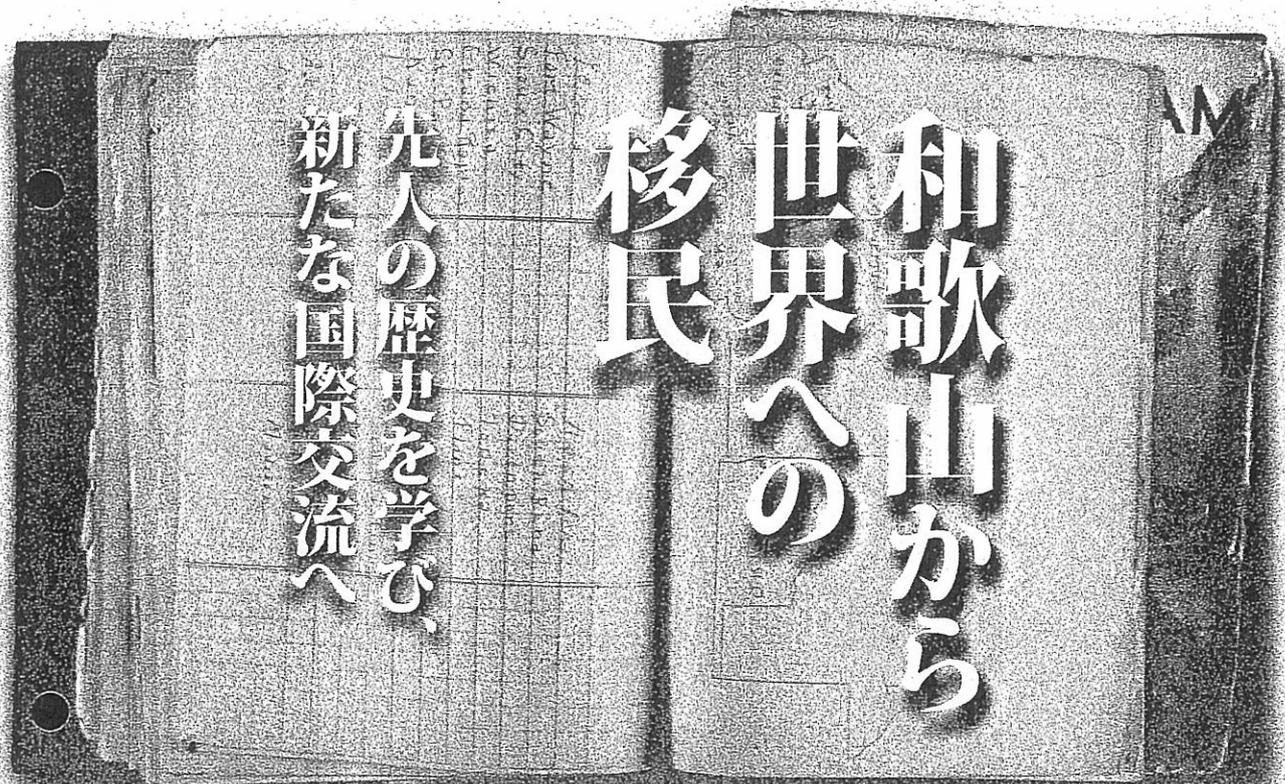
和歌山は全国有数の移民県の一つであり、数箇所の移民母村と呼ばれる地域を有している。各地域では移民の歴史を継承してゆきたいと願いつつも、世代交代により、先人達の記憶が薄れつつあるのが現状である。

100年以上も前の明治期から、はるばる海を渡った先人が移民者として苦勞を重ね、今日世界で活躍する日本人の礎を築いた。この歴史を後世に伝え、若い世代の人々には、その歴史を踏まえて新たな国際交流を展開してもらいたいと願う。

本シンポジウムは、移民母村の人々、移民の歴史に興味を持つ人々、移民研究者、さまざまな人々が集まり、わが郷土の先人に想いを馳せ、新たな国際交流の始まりとなることを願い、開催するものである。



カリフォルニア(*)×ハワイ(*)×クイーンズランド(豪)×和歌山
4地点中継・国際シンポジウム

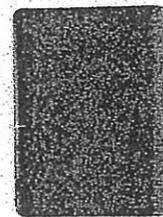
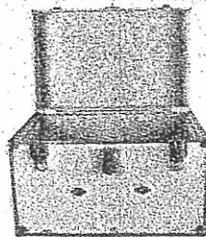


2009
11.28(土)

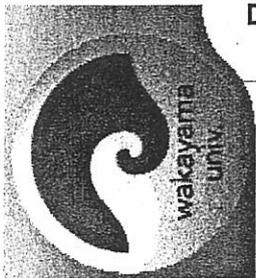
13:30~16:40

フォルテ・ワジマ3階
フュージョンミュージアム ニット×トイ 多目的ホール
(和歌山市本町2丁目1番地)

【問合せ先】
和歌山大学観光学部
tel:073-457-8547
http://www.wakayama-u.ac.jp/



主催：和歌山大学観光学部
共催：太地町公民館/太地町国際交流協会/和歌山県立新翔高等学校
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
後援：和歌山県/和歌山県教育委員会/和歌山市/和歌山市教育委員会
和歌山日米協会/和歌山大学国際教育研究センター
協力：和歌山市民図書館/財団法人和歌山県国際交流協会
太地町/太地町立くじらの博物館/ターミナル・アイランダーズ
JICA大阪/和歌山県中南米交流協会
株式会社島精機製作所(フュージョンミュージアム ニット×トイ)



ログイン

ログイン

和歌山大学 留学生の広場

和歌山大学 留学生の皆さん

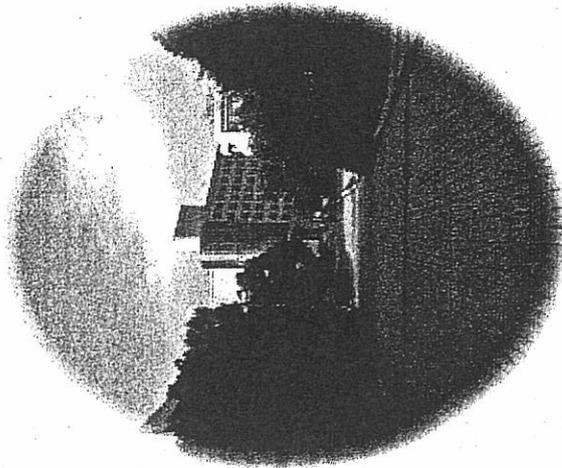
大学で出会った留学生との交流に、是非このサイトをご利用下さい。

メールアドレス(E-mail): _____

パスワード(Password): _____

次回から自動ログイン (Auto Login)

パスワードを忘れた場合 (Lost Password)



利用規約(Terms of Use) - プライバシーポリシー(Privacy Policy) - 開発・運営(Information)

Copyright© 2007-2010 Wakayama Univ. All rights reserved.

資料3-1-6 宿舍貸与の特別措置

平成21年12月21日

学 長 裁 定

大学院在籍者への宿舍貸与に関する特別措置要項

(趣旨)

第1 この要項は、国立大学法人和歌山大学大学院博士課程在籍者（同課程への進学を希望している学生を含む。以下「被貸与者」という。）に対して、国立大学法人和歌山大学宿舍規程（以下「宿舍規程」という。）に定める宿舍の一部を貸与するための必要事項を定める。

(居住できる職員宿舍)

第2 被貸与者が居住できる宿舍は次のとおりとする。

名称：国立大学法人和歌山大学紀伊合同宿舍

所在地：和歌山市神波30-3

(入居資格)

第3 宿舍を貸与できる者は、国立大学法人和歌山大学大学院博士課程在籍者および博士課程への進学を希望している学部3年生以上とし、世帯を異にする連帯保証人を選任しなければならない。

宿舍貸与申請書

年 月 日

国立大学法人 和歌山大学
財産管理担当役 殿

申請者

現 住 所

自宅電話番号 ()

学 籍 番 号

フリガナ

氏 名 印

連帯保証人

現 住 所

自宅電話番号 ()

フリガナ

氏 名 印

宿舍の貸与を受けたいので申請します。下欄記載の同居者についても併せて申請します。
宿舍の使用にあたっては、宿舍の規定及び指示に反しないことを確約します。

1. 同居者（申請者の親族の場合）

氏 名	年 齢	性 別	申請者との続柄	職 業	備 考

2. 同居者（学生の場合）

氏 名	年 齢	性 別	学 年	学 籍 番 号	備 考

(注) 添付書類：学生証の写し、連帯保証人の身分証明書の写し

資料3-1-7 留学生の募集要項

平成21年度 和歌山大学経済学部
 [経済学科・ビジネスマネジメント学科・市場環境学科]
 第3年次編入学学生募集要項

II. 出願資格

- (6) 外国において、4年制の大学又はこれに相当する大学に2年以上在学し（平成21年3月をもって2年在学となる者も含む）、当該大学の卒業必要単位の2分の1以上を修得した者（平成21年3月までに修得見込みの者を含む）であって、かつ、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者（平成21年3月までに修了見込みの者を含む）。

(平成22年度入学)

VI. 入学手続

合格者には、平成22年3月上旬に入学手続関係書類を送付する予定です。

入学手続期間：平成22年3月26日（金）から3月27日（土）（郵送も可）

※外国在住の外国人留学生は、出願資格(6)の条件を満たしている者に限り、希望により下記の期日のいずれかに入学手続を行うことができます。

平成22年2月14日（日）、平成22年3月14日（日）～3月15日（月）

[大学院経済学研究科]

1. 入学手続

合格者には、入学手続書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続期間

1回目募集	平成21年3月14日（土）～平成21年3月15日（日）
2回目募集	平成21年3月26日（木）～平成21年3月27日（金）

※2回目募集の合格者で外国在住の外国人留学生に限り、査証取得に日数を要することから、希望により1回目募集の入学手続期間の3月14日～3月15日に入学手続を行うことができます。

資料3-1-8 留学生への就職ガイダンス



[トップページ](#) > [イベント等情報](#)

外国人留学生を対象とした特別講座（就職活動）

外国人留学生を対象とした特別講座

「日本における就職活動（シューカツ）について」

内容：1. 就職フェアの概要	日時：2009年8月3日（月）	
2. 求人企業との面談	時間：13:30～16:00	8月3日に初めて、
①履歴書の書き方	場所：G-107・108	留学生向け就職活動講座を開催しました。
②ビジネスマナー	対象：全留学生	お辞儀の仕方など、熱心に指導を受けました。
③面談の手順	申込み：国際教育研究センター	
	締切日：7月27日（月） 17:00まで	

留学生のための安全ガイダンス

留学生のための安全ガイダンス

日程：平成21年6月23日（火）	基礎教育棟において留学生対象の防犯のための講演がありました。
時間：14:50～16:20	和歌山県警察署から3人のお巡りさんが交番の場所や事故・事件に
場所：基礎教育棟G-305	遭った場合の連絡方法、自転車の保管、鞆や荷物の持ち方等いろんな
対象：留学生全員	対処の仕方についてお話をさせていただきました。
講演講師：和歌山県警 警察官	30人の留学生は熱心に聞き入り、最後に質疑応答があり、
	感想文を書いて提出しました。

資料3-1-9 コーディネーターの活動

交換留学(派遣)秋ガイダンス

交換留学(派遣)秋ガイダンス

2・3年生対象に

平成21年10月27日(火) 午後4時30分～ : 中国・韓国留学希望者

平成21年10月28日(水) 午後4時30分～ : アメリカ・オーストラリア留学希望者

平成21年10月30日(金) 午後4時30分～ : フランス・グアテマラ・ベトナム・マレーシア留学希望者

の3日間、交換留学制度や協定校紹介の説明を行いました。



コーディネーター教員、交換留学生、前年度派遣学生が、協定校の紹介をしました、

ガイダンス参加学生は熱心に説明を受けました。

その後、スタッフから申込方法などの説明を行いました。

(出典：本学ウェブサイト)

資料3-1-10 ランゲージ・カフェの開催



[トップページ](#) > [イベント等情報](#)

第1回 Language Cafe

Language Cafe

第1回 平成21年5月28日 午後2時50分～午後4時20

場所： 大学会館内 「パン工房」

IERセンターでは、先日、異文化理解教育の一環として「Language Café」を開催しました。

留学生と日本人学生が、数人でグループを作ってテーブルを囲み、「私が見た和歌山・和歌山大学」というテーマで、ディスカッションをしました。

お互いの自己紹介をして、留学生が和歌山、和歌山大学の印象を述べ、日本人学生がそれについて意見を述べる・・・そんな流れで行ったのですが、交流の言語は、こちらで決めるのではなく、当然、グループのメンバー全員がディスカッションできる言語となります。たまたま、今回は日本語になりました。

和歌山大学と訪日研修生の交流会

1. 開始時期・実施時期 2004年度より開始。毎年2～3回実施（春季6月、秋季11月、冬季2月）
2. 対象学生 2004～2008年度までは、国際文化課程の内田みどり担当の授業を履修している学生を中心に、教員養成課程や他学部の学生も一部参加。
 *2008年度学部改組。国際文化課程は総合教育課程に統合。
 2009年度からは、
 春季については教員養成課程の国際政治論履修者と、総合教育課程の「国際社会と環境問題」履修者、国際文化課程「国際政治史」履修者を中心に、一部、他学部生も参加。
 秋季については、総合教育課程環境教育プログラムの科目「コミュニケーション演習Ⅰ」のなかに交流会を位置づけた。

資料3-1-11 留学生特別指導費

Subject: 教育費の支援について
MIME-Version: 1.0
X-Mailer: AL-Mail32 Version 1.13
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp

平成20年9月29日

留学生指導教員 各位

国際教育研究センター長

日頃から、留学生の指導に際しご尽力を賜りありがとうございます。
今年度から、各留学生指導教員に対し、下記により留学生特別指導経費を配分することになりました。
この経費は、各留学生指導教員が留学生の教育・研究指導をより一層充実して行えるよう、支援することを目的として配分するものです。
今後とも、留学生への指導について引き続きよろしく願いいたします。

記

平成20年度配分額: 7000円(指導にかかる留学生1名につき7000円)

ただし、指導教員が未定の留学生分については、当該所属学科長等に配分

経費の用途: 留学生指導に必要な諸経費

資料4-1-1 地域ニーズを考慮した入学者選抜方法

平成 20 年度高校訪問報告書より高校側コメントの抜粋

- ・ 評定平均 4.0 をクリアする生徒は和大以外の大学に進学するため、推薦入学でのチャレンジが減っている。
- ・ 市大、府大は、推薦入学で評定平均を外している。

平成 21 年度選抜状況より

システム工学部推薦入試

募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
35	60	60	31	31

平成 22 年度選抜状況より

システム工学部推薦入試

募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
35	117	112	32	32

平成 23 年度観光学部 A O 入試学生募集要項 p1 より

○入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

- ⑤観光を通じた地域再生の問題に関心がある人
- ⑥国際的な交流や、国内外の様々な地域の文化に関心がある人

和歌山県教育委員会県立学校課からの申し出（平成 20 年 11 月 28 日）

平成 16 年県高等学校校長会から和歌山大学に要望していた「地域枠」を検討するため、和歌山大学入試方策研究会において、和側と県高等学校・県教育委員会等が検討してきた。

和側教育学部の推薦入学に「県内枠」導入を求めていたが、教育学部入学者の約半数を県内出身者が占める状況から、要望を「紀南枠」に変更した。

平成 19 年 8 月の入試方策研究会において、「紀南枠」導入の検討に必要な「紀南地域の定義」、
「紀南地域における教員の需給バランス」等の説明を和側から求められ、県教委、県高等学校校長会で検討してきた。

その結果、「紀南枠」の導入を県高等学校校長会として見送るとの結論に至った。